

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 火の国観光バス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		乾電池・接着剤など日頃から業務で使用する物質の処理は勿論のこと。今年度以降は、社内報を通じて従業員のプライベートゴミの適切な処理に関する注意喚起していく取組みを計画している			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		アイドリングストップ・急発進・急ブレーキを無くすことは取り組んでいる【予定】令和3,10,1より温室効果ガスの排出量の簡易測定シート作成により排出量を把握し削減に努める							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		業務車両の買い替えサイクルに合わせて、電気自動車の導入を検討している【予定】令和3,10,1より温室効果ガスの排出量の簡易測定シート作成により排出量を把握し削減に努める		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		会議・ミーティング時などペーパーレス化の促進、社用車のクリーンディーゼル車促進など資源の過剰な利用や環境破壊につながる車へ配慮した取組みを実施している。					6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		耐久性の高い商品の使用や社員的心がけとしてエコバッグの活用に加え、社内報掲示板コーナーにて「不要になったもの」を繰り返し使える環境の実現および複合機トナーをはじめ回収・リサイクルに努めている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		各洗面所・蛇口での「節水」に関する注意喚起は常に行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コイントレー、AIR-IN消しゴム、修正液、修正テープ、付箋など環境に配慮した商品を使用。今年度よりコピー用紙も積極的に社内展開し、グリーン購入対象物品の使用に取り組んでいる										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2			6.4							12.3		14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

